

### ③婚姻・離婚・死産

(単位:件)

| 年次    | 区分   | 婚 姻 | 離 婚 | 死 産 |
|-------|------|-----|-----|-----|
| 平成14年 | 旧水海道 | 231 | 103 | 5   |
|       | 旧石下  | 161 | 54  | 3   |
| 平成15年 | 旧水海道 | 214 | 81  | 7   |
|       | 旧石下  | 106 | 63  | 6   |
| 平成16年 | 旧水海道 | 231 | 72  | 11  |
|       | 旧石下  | 124 | 47  | 6   |
| 平成17年 | 旧水海道 | 235 | 85  | 5   |
|       | 旧石下  | 118 | 48  | 6   |
| 平成18年 | 常総市  | 360 | 117 | 8   |
| 平成19年 | 常総市  | 335 | 127 | 10  |
| 平成20年 | 常総市  | 336 | 143 | 15  |
| 平成21年 | 常総市  | 339 | 125 | 8   |
| 平成22年 | 常総市  | 285 | 117 | 5   |
| 平成23年 | 常総市  | 251 | 120 | 13  |

資料:市民課

#### 婚姻件数と婚姻率の減少

婚姻件数は1960年代後半に100万組を超え、72年には110万組を記録し、普通婚姻率（人口1,000人当たり婚姻数、以下「婚姻率」と言う。）は10.0以上で婚姻ブームを呈した。その後、婚姻件数・率とも低下傾向を示したが、2000年、01年には1970年代前半に出生した団塊ジュニアの婚姻が増えたため、約80万組に上がった。以後、婚姻件数・率ともに概ね低下傾向が続き、2010年に婚姻件数は70万組となり、前年より8,000組の減少、婚姻率は5.5で前年より0.1ポイント低下している。

#### 離婚件数、離婚率ともに前年より低下

離婚件数は、2010年に25.1万組、普通離婚率（人口1,000人当たり離婚数、以下「離婚率」と言う。）は1.96で、件数、率とも前年よりそれぞれ約2000件、0.05ポイント低下している。長期的に見ると離婚件数は1960年の7万組から02年に29万組へ4倍増とピークに達して以降、年々減少している。離婚率も、60年（0.74）以降上昇傾向を持続し、02年に2.3と過去最高を記録したが、以降は概ね低下傾向にある。

資料：（財）日本統計協会「統計でみる日本2012」より